

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

和歌山市立貴志南小学校

教諭 矢田 良博

別途「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した、研修の概要を基に、1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修講座や研修員研修を受講し、多くの知識や経験を得ることができた。特に、ファシリテーターとしての司会進行の経験や、参加者としてのマトリクス法等の様々な方法による協議の経験により、これまで校内研修等をどのように行えばよいのか、イメージの湧いていなかったことも自身の中で具体化でき、学校現場ですぐに生かせるスキルを身に付けることにつながった。

研究では、自身の実践を省察し、課題を見出したことで、道徳科の授業づくりにおける工夫について学ぶことができた。研究する前は、道徳科における指導の方法に目を向けてしまっていたが、1年間をかけて様々な研究者の理論や実践を学び、なぜその方法が良いのかについても考えることができた。授業実践後の成果や課題の分析では、児童に多面的・多角的に考えさせ、成長を実感させる工夫として自身の用いた手立てである「学習の手引き」や「自己評価シート」の有用性を見出すことができた。研究で明らかになったことをこれからの授業に生かしていき、今回学んだ理論の大切さを心に留め、これからも学び続けたいと考えている。

今後は、自身が学んだことを学校組織の一員として広め、貢献できるよう努めたい。